

地域の安全・安心を担う建設業 vol.1

家畜伝染病発生時の緊急対応

令和3年4月13日に津市で豚熱が発生し、県との防疫協定による要請を受けた三重県建設業協会津支部の建設企業（延べ238人）が昼夜を問わず迅速に対応し4月23日に作業を完了しました。



防疫作業は、スピード感が求められおり、埋却溝の掘削等には地域の建設企業の機動力が必要不可欠です。



作業員は、慣れない防護服を着用し殺処分された家畜の運搬・埋却作業を行っています。心身ともに疲労を伴う作業ですが、建設業の社会的使命として奮闘しています。

建設業は、いつ、どこで発生してもおかしくない家畜伝染病や災害発生に迅速に対応し、県民の安全・安心を下支えする役割を担っています。防疫対応に携わった建設企業の皆様に感謝申し上げます。

建設業が地域の守り手としての役割を将来にわたって担えるよう「第三次三重県建設産業活性化プラン」の取組を推進しています。